



上川井だより

9月号

令和2年8月31日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎 真紀子

いのちの学び

夏休みが終わり、子どもたちの笑顔とともに、また学校が始まりました。2週間余りと短い期間でしたが、保護者の方からは、その分時間を大切に過ごすことができたという話も伺いました。子どもたちの話からも、プールで泳いだり山に行ったり、家族で楽しい時間を過ごせた様子が分かり、うれしく感じました。夏休み中は、PTAのうさぎ餌やりサポーターの方々、世話してくださったおかげで、ウサギたちも元気に夏を過ごすことができ、大変感謝しております。ご協力ありがとうございました。

まだまだ強く照りつける日差しと元気な蝉の声に、夏という季節のエネルギーを感じます。そんな中、1年生が生活科の学習で朝顔の種取りをしていました。

「校長先生見て、こんなにとれたよ。」と折り紙で作った袋の中の種を差し出します。「すごいね。いくつぐらいとれたの。」と聞くと「100個。」満面の笑顔です。「初めは何粒蒔いたの。」「5粒だよ。」「ずいぶん増えたね。」「うん。これね、おうちで植えるの。」どの子もたくさんの種をとろうと夢中になっています。「あのね、こういうのはまだなんだよ。中がまだ緑と白が混ざった色でとれないの。」と、青い実を指して朝顔の生長の様子も話していました。

身近な植物を育てる学習を通して、子どもたちは命の不思議やたくましさを感じ取っているようです。

さて、明日9月1日は防災の日です。地震や津波、台風等の自然災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減を目的として定められました。本校でも防災訓練に取り組みます。防災訓練は、命の学習です。いざというときに自分の身は自分で守る力を育むとともに、命の大切さについて感じてほしいと思っています。今回は、放送機器が使えなくなった想定で訓練を行います。けが人が出たり、避難経路の壁が崩れたり、実際の地震では想定外の場面も出てくることでしょう。訓練を通して具体的な場面を想像し、判断力を磨き、安全で速やかな避難ができるようにしていきたいと思います。

最近、台風や地震に加えて、豪雨や水害も増えてきています。そうした自然災害だけでなく、感染症や熱中症、テロなど、命を脅かす出来事に不安を駆り立てられることも少なくありません。いわば、命について考える機会が増えているともいえます。

そのたびごとに、正しい情報を収集し、自分たちにできることを考え、備えておくという姿勢を持ち続けたいものです。

日々の学びの中に、また、備えの中に、子どもたちが命についての感性を磨けるようにしていきたいと思います。